

編集後記

第46回日本脊椎脊髄病学会学術集会は、2017年4月13日～15日、島田洋一会長（秋田大学整形外科教授）のもと、札幌市において開催されました。季節外れの猛吹雪にも見舞われましたが、会場内は2,300名を超える多くの参加者の熱気に包まれました。「サイエンスに基づく脊椎脊髄外科の進歩」という学会テーマにたがわず、アカデミックかつプラクティカルな発表と討論が繰り広げられ、極めて意義深い学術集会となりました。

学会1日目の夜に催された全員懇親会では、秋田県出身の女優・タレントの壇蜜さんがサプライズゲストとして登場しました。島田会長の格別なお計らいにより、筆者は壇蜜さんとのトークショーのお相手をさせていただくという光栄に浴しました。壇蜜さんといえば、どうしても雑誌のグラビアや映画でのイメージが先行するかと思いますが、他方では、コラム執筆や著作などの文化人的活動も活発にされています。実際お会いすると、さわめて聡明かつ頭の回転の速い女性だという印象を受けました。

トークショーでは、会場の異様な熱気と盛り上がり、そして緊張感から、壇蜜さん本来の良さを十分に引き出せなかったのではないかと反省しています。しかし、事前に行った打ち合わせでは、非常に興味深いお話をいろいろと伺うことができました。本稿を借りて、その一端を紹介させていただきます。

壇蜜さんは、過去に某大学医学部の法医学教室で司法解剖の補助をしていたという特異な経験をお持ちで、解剖学的な知識や解剖学用語がポンポン出てきます。脊椎脊髄外科の学会でしたので、「せばねで連想

すること」を尋ねると、すかさず「atlas, axis, prominence」というレスポンスが返ってくる、といった具合です。ご自身も腰痛で整形外科を受診した経験もあるとのこと、「やはり運動療法が大事です」と、最近の医学的トレンドも把握しているかのような発言も。最後に、「医者に対して言いたいことは？」と伺うと、まず、「ほかの業種にくらべて、まだまだ情報発信が足りないと思う。患者が何を知らたがっているのかをよく考えて、ホームページなどでの情報提供をすべきだと思う」とのやや耳の痛いご指摘が。さらに畳みかけるように「決して自分ひとりでやっているなんて思わないでほしい。いろんな職種の人とつながっていることを忘れないでほしい。せばねだって、骨とか軟骨とか、硬いものや柔らかいものなど、いろんなものが連なってできているじゃないですか。それと同じですよ」との非常に含蓄のあるお言葉をいただき、感心することしきりでありました。

さて、トークショーとは言えば、「先生が緊張されていたので、私は緊張しないでできました」というクールなお言葉を残して壇蜜さんは退場され、私の夢のようなひと時は終わったのでした。

今月号の特集は、斎藤 充先生のご企画による「非定型大腿骨骨折の病態と治療」です。今日では、ビスホスホネートは骨粗鬆症に対する標準薬として広く普及していますが、長期使用にともなう合併症の一つとして非定型大腿骨骨折がクローズアップされています。本特集によりその病態や臨床像に関する理解を深め、発生予防と治療そして患者説明の一助としていただければ幸いです。（山下敏彦）

「整形・災害外科」第60巻 第8号（7月号） 2017年7月1日発行（毎月1回1日発行） 定価（本体2,500円＋税） 年間購読料金 定価（本体39,400円＋税） 〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 TEL 03 (3811) 7165〔編集室直通〕 TEL 03 (3811) 7184〔営業部直通〕 FAX 03 (3813) 0288 http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600
--	---

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <（社）出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、（社）出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969、FAX 03-3513-6979、e-mail:info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。